

番号 (都道府 県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種 類	CLTの主 な使用方 法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	中島農園 中島 純三	株式会社バスク デザイン 代表取締役 青 島啓太	中島農園作業所 新築工事の建築 実証	建築、設 計	構造体	地方での農作業拠点としての農作業所を、鉄骨とCLTパネルを用いたハイブリッド構造で計画を行う。現状では鉄骨部材の軽量化による一般流通鋼材の活用と寄与する、CLT活用のメリットを比較モデルによって示し、相互のコスト検証を通して効果を示す。躯体の軽量化によって、農地への接地を簡易化し、サステイナブルな軽量作業所のモデルを示して、農作業環境等の先進モデルを示す。	小規模のCLTパネル工法による事例は、全国に様々な事例が実現している。しかし、鉄骨造にCLTを組み合わせ、フレームを軽量化して、設計全体を合理化する事例は限られている。本事業では、モデル比較により、小規模ながら具体的な数量比較を行う。また、CLT普及において安定供給のための工場ストックパネル活用は、一般流通鋼材の利用とあわせて資材不足等の不安定な状況への対策につながることを示す。	千葉県八 街市	用途: 農産物の生産、集荷、処理又は貯蔵に供するもの 構造: 鉄骨造 階数: 1階建て 延べ面積: 54.00㎡ 工事種別: 新築 竣工予定: 令和4年5月	株式会社バスクデザイン 青島啓太
2	(個人)	株式会社フェニックスホーム (丸太組構法普及促進協議会) 代表取締役 松 下 勝久	スマート&スロー 砂私計画の建築 実証	建築、設 計、性能	構造体	壁、床にCLTを用いた丸太組構法による2階建ての共同住宅の建設を計画。CLTをログフレームとして使用することで、ログハウス特有のセトリング(ログ材の収縮と丸太の重さにより壁が下がる現象)の抑制を図り、構造及び施工上の課題の検証を行う。また、外部表し利用におけるCLTログの防火性能の実証実験を行い、60分の準耐火構造の認定取得を目指し、中大規模の木造建築物へのCLTログの利用を検証する。	本事業で実証するCLTを用いた丸太組構法の建築物と、RC造で建築した場合について、施工コストや工期、人工等を比較する。また、本事業では従来のログ材に比べ2倍以上の高さを持ったCLTのログ材(400mm)を使用することで施工効率の向上を図り、材の違いによる同工法における比較分析も合わせて行い、今後の丸太組構法におけるCLT利用の普及拡大を図るものとする。	長野県飯 田市	用途: 共同住宅 構造: 木造(丸太組構法) 階数: 2階建て 延べ面積: 334.70㎡ 工事種別: 新築 竣工予定: 令和4年4月	株式会社フェニックスホーム 菅野 真裕
3	有限会社ジョイボ ンド九州 代表取締役社長 岡田 正法	株式会社大匠建 設 代表取締役 井 上 真一	ジョイボンド九州 社屋新築工事の 建築実証	建築	構造体	①跳ね出しバルコニースラブからの漏水対策 ②CLT内に電気設備の隠蔽(コンセント等) ③施工中の表面養生(キズ防止) ④パネルコストの検証	計画建物には高耐久CLT材t=90・120・150を使用する予定である。計画建物と同規模のRC造やS造とのコスト面の比較を躯体材料費・施工費の両面から行うと共に、CLT工法のメリット・デメリットの比較提案も行う。低炭素化が求められている現代において、RC造とS造が排出するエネルギー量と木材が排出するエネルギー量を比較し、木造が与える社会への優位性を追求する。また、カーボンニュートラルを2050年までに実現出来るように求められている中で、木材の持つ環境への有効性を追求したい。中規模・大規模な建築物において、床に使用する場合など現状ではRC造の方が低コストとなっているが、負担率を出来る限り小さくできれば、CLT床のコストは著しく抑えられ、CLTを利用する方向性が生まれてくる。そのような状況下になれば、温室効果ガスの抑制にも繋がっていく。	福岡県那 珂川市	用途: 店舗兼事務所 構造: 木造 (CLT構造) 階数: 2階建て 延べ面積: 308.00㎡ 工事種別: 新築 竣工予定: 令和4年6月	株式会社大匠建設 建築部 寺田 洋樹